

立冬の朝茶柱立ちあがる
 屯田町 伊藤 タカ

震災地八人だけの卒業式
 旭町 宝澤 房子

空の旅一足早き桜かな
 南桜町 宮腰 幸子

春うらら笑顔とけあふ昼食会
 西岡町 渋谷みさ子

日本晴白きシヨールの富士の山
 旭町 大河 茂

前庭の枝から枝へ鳥の恋
 仲町 徳井 隆男

進む道きめて旅立つ春の朝
 西原町 児玉久美子

黙禱のあわすサイレン風寒し
 元町 杉山 繁良

復興を繋ぐ絆や春陽さす
 元町 竹内スミエ

春弥生初着縫ひ上げたたみけり
 仲町 梅基 敬子

ドアきしむ終の栖や春浅し
 藤本町 池田 良子

春愁や鎮魂の津々浦々に
 仲町 玉野 研一

気あらしに佇む鶴は凜として
 西町 金澤 頼子

山笑う森の生命よび覚す
 元町 印牧 安子

蒼天や齡の背を押す水温む
 緑町 齋藤 嘉子

喜寿過ぎて独り頼杖山笑ふ
 仲町 坂部 和子

春日差しふれあい館に笑顔あり
 元町 西崎 弘子

雪解水流れの速さ人の世も
 屯田町 古屋 克江

テーブルに人の数だけ冬リンゴ
 西町 岸波 君江

雪像に伸びる大型シャベルカー
 藤本町 高井 孝子

遊ぶ児に雪が活きてる踊ってる
 東町 高草木喜代子

寒き夜の心も温しだんご汁
 東町 高橋世津子

朝日射す遠くの嶺の冬霞
 西岡町 高瀬久美子

冬の空気球の色を際立たす
 西町 文梨 清子

マフラーに世の事あれこれ編み込
 西町 前橋 芳香

アルパカの長き睫毛や春の雪
 旭町 大河内清枝

歳月の水を小出しに山笑ふ
 仲町 芳賀 星子

information 絵本の館から



とんとんとん だれであか

はやしまあみ 作・絵
岩崎書店

「今夜は何かが起こりそう…」、ある日の夜、丘の上の一軒家に次々と現れる来客。とんとんとん、とドアをノックするガラス越しの影は、おそろしいものばかり…。それらの正体は、いったい何なのか、そして一軒家に集まって、これから何を起こそうとしているのでしょうか？



ぼくの あごい しゅうしゅうしゃ

スギヤマカナヨ 作
偕成社

「ぼく」のゴミ収集車は、ただの収集車ではありません。「なんでも収集します」と言う通り、止まらないしゃっくり、うっかり出てしまった臭いおならなど、どこかへ持って行ってほしいものすべてを集めてくれる、夢の車です。最後のページに「本物の収集車」の内部も載っています。

今月のおすすめ絵本

新着図書

- ・あたらしい哲学入門 土屋賢二 著
- ・おじさん図鑑 なかむらみ 著
- ・コロボックルむかしむかし 佐藤さとる 著

ほか